

## 『学校選択と教育バウチャー——教育格差と公立小・中学校の行方』目次

はじめに——002

## 第1章 学校選択制の広がりを見直し

## 第1節 学校選択制の全国への広がり——008

- 1 次に学校選択制を導入する自治体——009
- 2 「改革派」が関心を示す学校選択制——012

## 第2節 導入を見送った自治体——015

- 1 兵庫県宝塚市——015
  - 2 神奈川県小田原市——016
  - 3 神奈川県鎌倉市——016
  - 4 千葉県佐倉市——018
  - 5 学校選択制の導入を見送った理由——021
  - 6 導入後の撤回は難しい学校選択制——025
- 付・学校選択制 導入済・導入予定自治体一覧——027

## 第2章 学校選択の現状

## 第1節 品川区の概況——034

- 1 2005年度までの選択動向 人気を集める“伝統校”と“豪華校舎”——034
- 2 2006年度以降の選択動向 小中一貫校の登場で状況が一変——040

## 第2節 杉並区の概況——043

- 1 小学校の選択動向 根強い人気“浜田山ブランド”——043
- 2 中学校の選択動向 施設・設備面で恵まれた学校が人気を集める——043
- 3 学校統廃合の動き 学校選択で小規模化した小学校どうしを統廃合——045

## 第3節 荒川区の概況——050

- 1 小学校の選択動向 校庭芝生化の小学校が人気を集める——050
- 2 中学校の選択動向 人気を集める成績上位校と“豪華校舎”——052
- 3 学校選択制で学力は向上するのか 学校別平均点の公表と学校選択制——053

## 第4節 足立区の概況——061

- 1 小学校の選択動向 徐々に人気を高める五反野小学校——061
- 2 中学校の選択動向 人気を集める「足立の学習院」——062

## 第5節 川口市の概況——068

- 1 小学校の選択動向 小規模校は避けられる傾向——068
- 2 中学校の選択動向 苦戦が続く人気校の隣接校——070

## 第6節 広島市の概況——074

- 1 中学校の選択動向 選択制実施3年で早くも人気校が固定化——074
- 2 小学校の状況 通学時の事件発生の影響で選択制導入は見合わせ——076

## 第7節 尾道市の概況——078

- 1 小学校の選択動向 陰山英男校長の土堂小が一人勝ち状態——078
- 2 中学校の選択動向 学力テスト上位の学校が人気を集める——080

## 第3章 連動する経済格差と教育格差

## 第1節 都道府県、市区町村ごとの経済格差と学力格差との関係——084

- 1 県民所得とセンター試験の平均点との相関——084
- 2 市区町村ごとの就学援助率と学力テストの平均点との相関——086

## 第2節 学校ごとに見た経済格差と学力格差との関係——089

- 1 足立区の場合——089
- 2 江戸川区の場合——092
- 3 杉並区の場合——094
- 4 荒川区の場合——096

## 第3節 学力格差と学校選択——099

- 1 学力テストの学校別平均点の公表と学校選択動向（足立区・小学校）——099
- 2 学力テストの学校別平均点の公表と学校選択動向（足立区・中学校）——100
- 3 学力テストの成績公表があいまいな形の場合（杉並区）——103
- 4 学力を基準とした学校選択と経済格差との関係——103
- 5 学校選択制から学校間格差の拡大へ——105

## 第4章 教育バウチャーと学校選択

## 第1節 教育バウチャーとは——108

## 第2節 政策課題としての教育バウチャー——111

- 1 規制改革・民間開放推進会議までの流れ——111
- 2 規制改革・民間開放推進会議の提言——112
- 3 ワーキング・グループの提言——114
- 4 文部科学省「教育バウチャー研究会」の検討——117
- 5 教育再生会議の検討課題——119

## 第3節 教育バウチャー：三つのモデル——121

- 1 スウェーデン・モデルを導入した場合——122
- 2 チリ・モデルを導入した場合——125
- 3 第三のモデルを導入した場合——126

## 第4節 学校選択制と教育バウチャー——128

- 1 学校選択制導入の結果から分かったこと——128
- 2 学力基準が浮上し、学力格差が拡大する——129

補論 黒崎勲氏の批判に反論する——133

あとがき——141